

令和4年6月22日

保護者の皆様

豊見城市立ゆたか小学校
校長 上原 義仁
幼保連携型認定ゆたかこども園
統括園長 金城 努
(公印省略)

小学校校内道路の車両通行方法変更 検討の結果について

時下、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から、教育活動へご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、6月8日付文書にてお知らせした、校内道路の車両通行止めの検討について、皆様のアンケート（選択肢回答、記述回答）による意見を踏まえ、下記のとおりとすることとしました。

なお、今回の決定に伴い、6月27日（月）以降に予定していた内容（実証試験・2回目のアンケート等）は行わないこととします。

記

1 校内道路の車両通行方法について

関係者以外進入禁止とし、さらなる安全対策を行った上で、
保護者等関係者の **車両通行はこれまで通り** とする。

※ 様々な角度から検討した結果、最終的に、この場を児童への教育の場と捉え実際に活用されている方がいること等を踏まえ判断いたしました。

2 現時点で予定している安全対策

- ① 校内道路入口に「関係者以外進入禁止」の表示を設置する。
- ② 車両運転手から見やすい位置に「徐行」と横断歩道の注意喚起の表示を行う。
- ③ 車両誘導用ブロックを見やすい「黄色」にする。
- ④ 正門近くの横断歩道に車両から階段の状況が確認できるミラーを設置する。
(設置まで期間を要する場合があります。)
- ⑤ 児童への交通安全指導を徹底する。
(ご家庭でも、日頃から安全指導をお願いします。)

3 その他

- ① 豊見城市では「てくてく登校」を推奨しています。児童は、できるだけ徒歩で登校させてください。
 - ② 校内道路を車両で通行する際は、児童の安全を最優先に、徐行で通行してください。
 - ③ かでな内科近くの横断歩道を通りぬかれる方は、児童の横断にご留意ください。
 - ④ 本件については、豊見城市教育委員会とも連携して、検討・判断しております。
- ※ アンケートへのご協力ありがとうございました。貴重なご意見を伺うことができ、今回の判断をすることができました。
裏面にアンケートの結果を掲載しています。(紙面の都合上、記述回答部分は一部のみ、抜粋・要約して記載しています。ご了承ください。)

裏面もご確認ください。

校内道路通行方法に関するアンケートの結果

実施期間： 2022年6月8日（水）～13日（月）

対象： ゆたか小学校保護者、ゆたかこども園保護者、一方通行側近隣住民の皆様

回答総数： 371件

【設問1】所属（複数回答可）

ゆたか小学校保護者	81.9%
ゆたかこども園保護者	28.6%
近隣住民	3.0%
他	0.6%

【設問2】校内道路を通行していますか。

(ほとんど)通行していない	44.5%
ほぼ毎日通行している	28.6%
時々通行している	26.1%
他	0.8%

【設問3】通行止めをどう思いますか

反対（現状のままがいい）	41.5%
賛成	35.0%
どちらでもいい	14.3%
反対（他の方法がいい）	9.2%

【設問4】3で回答した理由を書いてください。

車両が混雑する可能性がある	43.1%
通行止めにした方が児童が安全	35.3%
せつかくある校内道路を活用	5.0%
そのままでも児童は安全	3.9%
他	12.7%

【設問4】と【設問5】（ご意見・ご提案）の記述回答より（抜粋・要約）

【設問3で、賛成と答えた方】

- 送り迎え時間は混雑するが、総合的に見て子どもたちの安全が確保される。
- 朝は特に、運転が荒かったり、スピードが出ている車を多数見かける。児童が渡るために停止しているのに、後方からクラクションを鳴らす保護者がいる。
- 事故以外の犯罪危険防止のためにも、敷地内に入る車両は制限した方がいい。
- 渋滞するとしても時間帯は決まっており限定的。児童の安全が最優先されるべき。
- ほとんどが送迎車両であるため混雑が起きている。
- 娘が車両にひかれそうになったと言っていた。
- こども園側の横断歩道で、待っている児童がいるのに全く止まろうとせず、逆にスピードを上げる車両を多数見かける。
- 大人への気遣いよりも、児童の安全第一で検討願います。
- 通行止めの方が安全なのは明らか。

【設問3で、反対（現状がいい）と答えた方】

- 現状のままで児童の安全は確保できている。
- 通行する方は保護者が主なので、安全に気をつけて通行している。
- 駐車場から出口までの距離が短すぎて、駐車場内まで混雑が続き、逆に事故などの危険がある。
- 駐車場で乗り降りする児童が危険になる。また、保護者の車同士の接触の危険もある。
- すべてだめだというのではなく、児童に注意する力を養うようにした方がいい。
- 一方通行区域の横断歩道には、必ず大人を立たせて安全確保させれば大丈夫。
- 学校に来るまでの道のりの方が車通りも多くて危険。
- リスクを取り除くことは簡単だが、それでは児童の安全に対する教育指導ができない。
- 一年生の保護者だが、子どもが一人で横断できるよう校内道路で練習をさせている。
- 横断歩道の今以上の注意喚起や表示の設置などの対応が現実的。
- できるだけ、車両での登下校を控えるための対策を考えた方がいい。
- 校内道路出入口側の道路の渋滞を悪化させ、事故も増えると思う。学校関係者以外に迷惑がかりそう。
- 校内道路入口で地域の方や中高生等のリスクが増えるように思う。
- 保護者の皆さんに、再度交通マナーを徹底してもらおう。

【設問3で、どちらでもいいと答えた方】

- どちらでもメリットデメリットがある。
- 安全でない場所は他にもある。特別に学校の周りだけ無理に変えようと思わなくていい。
- 安全のためであれば、決められた方法に従う。
- 事故のリスクが減るのはいいが、どのくらい渋滞が発生するのか予測がつかない。
- 事故防止なら、きちんと調査してから決めてほしい。
- 小学校の出入り口での安全が確保できるかわからないので、期間を決めて試した方がいい。
- 児童の安全性ではいい案だと思うが、駐車場が混雑し、事故や車同士のトラブルが心配。

【設問3で、反対（他の方法）と答えた方】

- 車両が校内道路入口からも出られるようにする。
- 通行許可書を必要にする。
- 時間帯で通行方法を変えるなど、柔軟に考える。
- 校内道路出入口を広くできるのなら、通行止めに賛成。
- 混雑時のこども園の迎えはレキオスキップ駐車場を使用する。
- 保護者の不要な送迎は控える
- 歩道橋を設置する
- 職員駐車場と入れ替える。
- 駐車場と校内道路を入れ替える。

裏面もご確認ください。